

## 「江内中学校の山田樂伝承活動の取組」

### 1 学校名

出水市立江内中学校

### 2 学年・人数

2年生（計10人）

### 3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和2年5月～9月 江内中学校体育館

(2) 発表の日時・場所

令和2年9月20日（日） 江内小・中学校合同運動会

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

江内山田樂（えうちやまだがく）

(2) 由来

山田樂は、約350年前、出水郷地頭の山田昌巖が武士の士気を鼓舞するために作った踊りとされている。出水地区の4校区で伝統芸能として継承されている。江内山田樂は、30年ほど前まで青年団が踊っていたが、青年団の衰退とともに山田樂の伝承活動も途絶えた。1995（平成7）年、江内中学校創立50周年記念に合わせて「演奏（伝承）」ということで、江内山田樂保存会が結成された。

(3) 構成等

構成は、鐘・柴（鼓太鼓）・宮（大太鼓）の三つからなる。鐘の先頭の親鐘が要所で合図を送る。親鐘を先頭に柴と宮の太鼓が続いて、練り歩き入場する。その後、3列になり、正面を向き、整列する。鐘を内円とし、柴と宮で外円をつくり、二重の円を作り、演舞する。最後、再び3列になり、正面を向き整列、一礼した後、そのまま退場する。1～6番からなる構成により、出征から凱旋の形を太鼓踊りに組んでいる。

### 5 保存会や地域との連携の具体

江内小学校5年生と江内中学校2年生が江内山田樂保存会の方から指導を受けて、小中合同運動会、紫尾神社奉納祭（小学5年生）、江内まつり（中学2年生）で踊りを披露している。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、紫尾神社奉納祭と江内まつりでの披露は中止された。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

本校は、総合的な学習の時間の中に「ふるさと江内学」を設定し、2年生は年間指導計画の中に山田樂の練習・まとめを計6時間位置付けている。

中学2年生は、小学生の時の経験を生かし、練習内容を工夫したり小学5年生にアドバイスをしたりしている。

## 7 取組の様子



小中合同の練習風景（5月）



小中合同運動会での発表（9月）

## 8 参加生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【2年生生徒】

- ・ 「正しく覚える」「失敗を恐れない」「仲間意識を大切にする」を意識して練習することができた。
- ・ 山田樂を通して「伝統」の大切さを学んだ。先輩から教えてもらったことを後輩に伝えていきたい。

### 【教職員】

子どもたちが、協力してくださった山田樂保存会や保護者との交流を深めながら地域の伝統を守る活動に誇りをもち、練習から本番まで意欲的に取り組んだ。小中一貫校の強みを生かし、中学生が小学生に教えるなどのつながりを持たすことができた。中学生にとっては、小学生に教えることで、伝承活動の一旦を担っているという自己肯定感の高まりと郷土愛を育むことにつながっている。

### 【保存会から】

平成8年の江内中学校創立50周年記念事業の一環として、地域の伝統文化の掘り起こしがなされ、『江内山田樂保存会』が発足し約25年が経つ。現在では、当時児童生徒だったメンバーが主に保存会を担っている。この間、地域と学校とが密に連携し、児童生徒の演舞を支援し、安定した継承活動を行えている。運動会や地域のお祭り等での演舞により、地域の方に活力を与えるとともに、子どもたちの郷土愛の醸成に寄与している。保存会の会員も、児童生徒との交流を通して、やりがいと自己有用感を得ることが出来ている。

### 【地域の方から】

毎年、小中合同運動会や江内まつりなどの地元の行事において、児童生徒が演舞する姿を見て大変元気を貰っている。地域の伝統芸能を、子どもたちの手で守り受け継いでいる事へ感謝すると共に、今後も大いに期待したい。